

安全安心な社会の実現へ 飲酒運転撲滅企業を宣言

アルコールチェッカーの配布も

宮坂建設工業

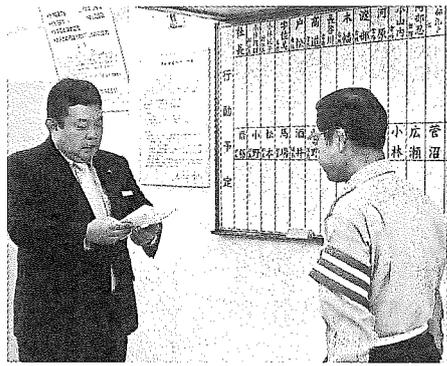
【帯広】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)の宮坂社長は8日、飲酒運転の撲滅に率先して取り組むため、帯広警察署の藤村博之署長に飲酒運転撲滅企業を宣言した「写真」。グループ会社・協力会社にアルコールチェッカー計五百個を配布。飲酒運転のない安心して暮らせる社会に向けて、会社が「一丸となって飲酒運転撲滅に向けて取り組んでいくことを誓った。同社では、ちょっとした

気の緩みを取り返しのつかない事態を招くことから、全役職員が一丸となって日ごろから交通安全活動を行い、交通事故・交通違反防止に努めている。

一方、道内では飲酒運転による悲惨な重大事故が相次いでおり、市民の生命と安全が脅かされている。

全道各地で飲酒運転を無くそうという声があがり、宮坂社長は「この日をおり、同社は飲酒運転の撲滅に率先して取り組むため、飲酒運転は絶対にならない、させない、許さない」と呼びかけた。

宮坂社長は「この日をおり、同社は飲酒運転の撲滅に率先して取り組むため、飲酒運転は絶対にならない、させない、許さない」と呼びかけた。



酒運転撲滅企業として宣言したのち、宮坂社長が協力会社で構成する協雄会の板倉利男会長にアルコールチェッカーを手渡した。

藤村署長は「宮坂建設工業は様々な交通安全の活動に取り組んでおり、非常にありがたい。引き続き、協力いただきたい」と呼びかけた。

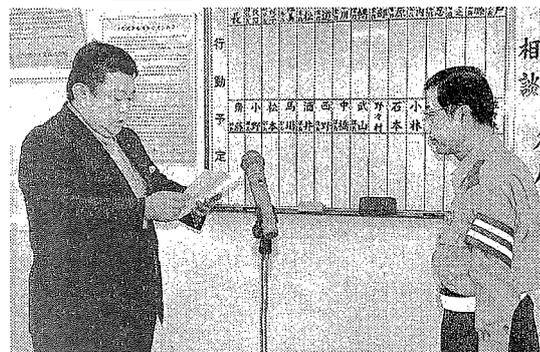
宮坂社長は「この日をおり、同社は飲酒運転の撲滅に率先して取り組むため、飲酒運転は絶対にならない、させない、許さない」と呼びかけた。

宮坂社長は「この日をおり、同社は飲酒運転の撲滅に率先して取り組むため、飲酒運転は絶対にならない、させない、許さない」と呼びかけた。

飲酒運転許さない

宮坂建設工業が撲滅宣言

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広)は8日、同社で帯広警察署の藤村博之署長を前に「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」と、飲酒運転撲滅企業を宣言した。併せて、協力会社組織の協雄会にアルコールチェッカーを配布する。宮坂社長(左)



力300台を贈った。道内で飲酒運転による重大事故が目立っているため、撲滅活動を徹底することにした。同社は飲酒した翌日の酒気帯び対策として、これまでに70台のアルコールチェッカーを導入している。今回500台を追加購入し、300台を協力会社に寄贈。200台を自社グループ会社で使用する。社員の前で宣言文を読み上げた宮坂寿文社長は「社会を守るのがわれわれの使命であり、飲酒運転は絶対にしてはいけない。一丸となって撲滅させたい」と呼び掛けた。

藤村署長は、道内で飲酒運転事故が多いことに触れ、「意識の低い人はまだいる。後悔してからは遅い」と注意を促した。

協雄会の板倉利男会長(相互電業社長)は「飲酒運転は絶対に許さないことを理解し、撲滅運動に取り組むたい」と誓った。